

答 高齢者等へは除雪経費の助成で対応している。地下水による融雪槽は地下水枯れ等の課題があり、この課題が解決できる方法があれば検討していきたい。

公営住宅維持管理事業

問 団地内で、町内会に加入しない方がおり、共益費の徴収が難しい状況。家賃同様に町で徴収することはできないか。

答 共益費は住んでいる方の責任で支払いを行ってもらうことが原則。今後町内会に依頼する。

問 公営住宅において、住民は住んでいないが家賃は支払われている事例があるがどう考えるか。

答 住居の移動は住民票上でしか確認できない。実際に住んでいなくても家賃さえ支払われていれば、居住権は維持される。

融雪出水対策事業

問 記録的な大雪で、融雪時、川の増水が懸念される。農業者や水防団等への注意喚起は。

答 排水機場の復元稼働は専門業者を呼ばなければならず、救急排水機もポンプをはずしており、施設稼働は無理な状況。水防団等への事前周知はしていないが、河川の雪割りは実施している。

育英事業

問 地元に戻って来て働いたら奨学金を償還をしなくても良いという町もあるが、本町は考えていないのか。

答 担い手として、町に戻ってきて働いたときに支援を講じているので、今の段階では考えていない。

小学校教育推進事業

問 学校でのインターネット環境が進むが教職員が業務で使用するネット回線のセキュリティはどうなっているか。

答 教職員が業務で使う回線は有線で行い、子供たちが使う無線回線とは別になっている。ＩＤ、パスワードも別に管理している。

スクールバス運行管理事業

問 民間委託をするというが、現状の運行体制では困難な状況になったのか。また、民間に委託することによるメリットは。

答 運転技術職員の定年と、運転手の補充は行わないという考えから民間委託とした。また、民間企業では安全対策等を常に工夫しており、多くの面でメリットがあると考えている。

中学校保健活動事業

問 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の役割と、何に対する報酬か。

答 報酬は、学校医、学校歯科医は年間26万円、学校薬剤師は年間5万4千円。業務は、内科検診、歯科検診、フッ化化合物洗口等を行っている。

学校給食提供事業

問 アレルギー食材の安全対策としての「給食管理・栄養計算システム」更新とは。児童生徒のアレルギーへの効果や影響は。

答 平成23年度から栄養士が使用しているシステム。今回の更新で、アレルギーに対する管理機能が強化され、細かな献立管理が可能となる。

図書館運営事業

問 図書館の研修室は一般住民が利用できないのか。

答 ボランティア団体の会議や、特別授業で職員とボランティアが教材等を作る際に使用。図書館運営に必要な部屋であり、一般への貸し出しは行っていない。

生涯スポーツ推進事業 地域おこし協力隊活動事業

問 生涯スポーツ推進事業を担っている協力隊が任期を終えた後、事業の継続をどう考えるか。

答 3年間でスラックラインがどこまで普及できるかが課題であるが、3年後、町費での雇用は考えていない。新たに募集するかは、今後の状況を見て検討する。

国民健康保険特別会計

問 道と町が共同運営を行うなか、空知中部広域連合のメリットは。

答 レセプト点検業務等を各市町が行うことで人員や経費面で負担増となる。共同処理により経費削減等が図れることから、広域連合を継続することとした。

下水道事業特別会計

問 下水道管の計画的補修対応は。

答 埋設管は塩ビ管で耐用年数は50年となっている。平成3年から下水道工事を開始しており、当分の間は補修の必要はない。